

J R労働者が働きやすい環境づくりと社会に寄与する運動を作ろう!

東日本ユニオン 仙台地方本部

J R東日本労働組合仙台地方本部 発行責任者 阿部 勉 編集責任者 教宣部
仙台市宮城野区東六番丁31-2 NTT電話 022-221-7375 NTT FAX 022-221-7509
J R電話 031-3906 J RFAX 031-3909 メールアドレス unionsemdai@yahoo.co.jp

更なる組織拡大に向け全力を傾注しよう!

第6回定期大会を開催

東日本ユニオンは7月14日、ホテル・ラングウッドで第6回定期大会を開催し、運動方針をはじめとした議案を全会一致で承認した。



組織拡大を実現するぞ

長野地本滝沢 代議員を議長に選出し議事が進められ、佐藤本部委員長は挨拶の冒頭で、大阪北部地震や西日本豪雨により被災された方へのお見舞いを述べ、ユニオンとして支援を行うことを明らかにした。その上で、「労使共同宣言」解約に至る会社との合意について説明し、安全の確立に向けた取り組みの強化、JR東労組のスト行使に伴う組織混乱によりユニオンの存在価値

が問われた2018春闘に全組合員の結集を得たこと、そして、第5回大会以降に22名の新しい仲間を迎え入れることができたユニオン運動に自信を持ち、「自らの変化と前進を

仙台地本は今年度末で、エルダー組合員と本体組合員の人数が逆転する。東労組から脱退し「社友会」にいる社員に対し、組合の必要性と存在意義を説明し組織拡大に向け日々取り組んでいる。



新関代議員 発言(要旨)

組織拡大と並行して、地本運営と存続を含めた議論をしなければならぬ時期に来ており、組合員の想いが反映出来る環境を創っていきたい。エルダー制度では、本部本社間において確認したスケジュールの遵守と早急な提示を求めてきたが、仙台

確認できる、第6回定期大会としよう」と訴えた。

組織拡大に向けた闘いの報告、エルダー制度や保険メンテナンスの最適化の業務課題、2018春闘などについて、全12地本の代議員(仙台地本新関代議員の発言は別掲)から発言があった。

栗田組織部長、角谷業務部長に続き答弁をした生田書記長は、代議員からの質問に答え、後、「情勢に惑わされることなく、要求を勝ち取るために組織強化・拡大をめざし、組織強化・拡大を通じて要求を勝ち取る」を合言葉に一年間奮闘しよう」と集約した。

支社は、その都度「鋭意努力している」との回答に終始し、6月によく再雇用先を提示し、7月に入って説明会が行われた。本社に対しスケジュールの遵守と希望地・希望先を最優先で提示を行うよう働きかけていた。また、

会社は先輩諸氏がこれまでに処分を受けつつも勝ち取ってきた手当や社員の権利にまで手を付け始めてきた。「社員の皆様に」とのタイトルで、各種施策の変更も矢継ぎ早に提示やタブレットを使い一方通行的に提案し、現場長の要領を得ない説明だけで、実施日ありきのやり方は組合軽視と言わざるを得ない。業務課題に迅速に対応し、本部との連携強化で問題解決を図っていく体制の構築に取り組み。

竹嶋さん「お世話になりました」

慰労会に各地から23名が参加



出席者が竹嶋さんを囲んで記念撮影

仙台地方本部は、3月に定年退職となった、仙台地本前委員長竹嶋公生さんの「退職慰労会」を6月26日、山形市「国際ホテル」で開催した。出席したご来賓、本部役員や組合員など23名が、先頭に立つて献身的に組合活動を実践し、地本体制を発展、充実に導いた竹嶋さんの功績を讃えた。



千葉の佐久間副委員長から記念品

の鉄道員人生に敬意を表し、「慰労会にしたのは、これまで通りの付き合いを願うため」と会の趣旨を紹介し、大局的見地からの助言をお願いした。竹嶋さんは42年に及ぶ鉄道員人生について触れ、「国鉄の分割民営化による労務政策で11年間暮らした秋田から山形に配置転換させられ悔しい思いをした。『不当配転』の原告団を結成し、つらく長い闘いであったが、多くの仲間を支えられ、最

42年間お疲れ様でした

仙台駅に無事到着



6月17日、仙台運輸区の高橋勝彦さんが運転する岩沼発、1437Mは、支え続けた家族を乗せ仙台駅5番線に到着した。定刻の16時30分、ユニオン組合員や職場の仲間が拍手で迎え高橋さんのラストランを見届けた。宮城連合分会の渡辺委員長は花束を贈呈し、37年に及ぶ乗務員人生と組合活動への貢献を労った。場所を移して行われた慰労会で高橋さんは、「37年間の乗



駒込さんが花を添える

高裁まで闘うことができた」と振り返った。「当時は嫌な想いが強かったが、退職してからも会える仲間が山形にできて有り難く感じている」と感謝を述べている。

高橋勝彦さんが「ラストラン」

現在、32年ぶりに帰った地元の能代で農業に勤しみ、「いづれは法人格を取得し大規模農業を展開したい」と将来展望について熱い想いを語った。同郷のバイオリニスト駒込綾さんの生演奏など、趣向を凝らした懇親会に時の経つのも忘れ思い出話に花が咲いた。



ユニオンの仲間から花束贈呈

慰労会で思い出を語る



業所で高橋さんの第2の鉄道員人生が始まる。

務員人生を無事故で終えることができ安堵している」と振り返り、「転勤で25年間、地元を離れたが多くの人に支えられ、あつという間の出来事のように感じている。今は、仙台を離れることに少し寂しさもある」と愛着と複雑な心境を語った。第1希望の山形地区での運転士エルダーとはならなかったが、テクノサービスマン山形営業所

行事日程

- ▽8月2日 第5回仙台地本定期大会(仙台生涯学習センター) 13時
- ▽10月11日 地本いも煮会

組合員の異動

- ▽6月30日(敬称略) 相馬清(東日本電気←退職)
- ▽7月1日 高橋勝彦(仙台運輸区←テクノサービスマン山形) エルダー出向
- 工藤尚(寒河江駅) 本体エルダー)
- 藤原伸和(TSS山形駅) エルダー出向
- 竹田浩幸(赤湯駅←米沢駅)
- 高橋純一(新庄保技セ←新庄メンテC)
- 小野和治(新庄保技セ←新庄メンテC)
- 菊地和耕(新庄保技セ←山形保技セ)

完